



花いっぱい!ふれあいもいっぱい!

町自連

【花いっぱい運動・花壇コンクール審査会】

7月5日に「道路部門」7地区、「公園・広場部門」11地区の審査が行われました。

多くの地区が5月26日に苗の植え付けを行い、6月の猛暑から梅雨を乗り越えて審査日を迎えました。水枯れや雑草の除去などの対応に大変ご苦労され、思うように出来ない悔しさをお聞きました。どの地区も個々に異なる環境に合わせ、関わる人達と苦労しながらも楽しくふれあい、花壇に取り組んでいる姿が見えました。

公園・広場部門 金賞

油平自治会 (油平クラブハウス北側)



【受賞コメント】テーマは「緑(円)で繋がる花壇」
真っ赤なサルビアを中心に橙黄色七つの円が融合する繋がりをイメージしました。会長 小針幸光

道路部門 金賞

西ヶ谷戸町内会 (いなげや新草花店東南)



【受賞コメント】平成30年度から今年度まで6期連続で入賞させていただきました。大谷選手の活躍を願いエンゼルスとドジャースのマークをお花で表現しました。会長 島井武四郎

公園・広場部門 銀賞

雨間町内会 (鳥居場会館駐車場)



パリオリンピック開催に向けて日の丸とフランスの国旗を彩り、花達には名前と花言葉の札で紹介されている。

公園・広場部門 銀賞

富士見台自治会 (北公園)



北公園の中に圧倒されるスケール感の花壇。「もっと近くで見て」と説明者。中央の花を引き立てるように周りの小さな花達もしっかり彩っている。

道路部門 銀賞

二宮町内会 (二宮本宿交差点東側)



ここの交差点を通り、あきる野に入ってくるドライバーの心をつかむこと間違いなし。高低差を利用して色合いもしっかり表現されている。

公園・広場部門 銅賞

平沢町内会



公園・広場部門 銅賞

油平本町内会



公園・広場部門 銅賞

小中野自治会



道路部門 銅賞

三内自治会



あきる野夏まつりでの活動



8月3日に恒例の「あきる野夏まつり」が盛大に開催されました。
町自連ではブースを設置し加入促進活動を実施しました。
昨年より役員はロゴマークのプリントされた法被をお揃いで羽織り、行き交う子供連れの家族に色とりどりの風船を資料とともに手渡ししながら、広報活動を行いました。風船は大好評で膨らませるのに大変でしたが、市民の皆様と良いふれあいの機会となりました。

Instagramはじめました!!

牛沼町内会 会長 中村 裕巳

牛沼町内会では、従来からブログで情報発信していますが、今や若者世代（10代、20代）の70%が利用しているというInstagramをはじめました。町内会自治会は年々加入率が低下しています。そこで、牛沼町内会では、年間を通して多くの行事を実施しているので、「まずは、町内会で何をやっているか、動画で見てもらおう!」ということになりました。動画は少しずつ溜まっていけば、町内会の歴史を作ることもなります。もう少し動画が増えたら、町内にQRコード入りのポスターを掲示して、若い世代にも町内会の活動をアピールしていこうと思います。

Instagramって何?という方もいるかも知れませんが、皆さんもぜひご覧下さい。

牛沼町内会ブログ



牛沼町内会Instagram



多西地区町内会 自治会連合会の紹介

尾崎町内会 会長 宮崎 長寿

多西地区とは市内を流れる平井川流域の地区で、その語源は大正10年に菅生村、瀬戸岡村、草花村、原小宮村の4ヶ村が合併し、多西村となったことに由来します。

私たち多西地区町内会・自治会連合会は、旧村の小字単位の町内会と新たな住宅団地の自治会など18の団体が加盟しています。

会の運営は代表である折立町内会の岡野一夫会長のもと、毎月1回、定例の会長会を開催し、上部団体である市連合会（町自連）等からの連絡事項の周知や情報交換等を行っています。

今日の町内会等の運営の課題は、加入者の減少や役員等の担い手不足、またお祭りなどの行事の継承問題や地震等の災害時の対応等多岐にわたっており、即問題解決できるような課題で



はありませんが、話し合う中でそれぞれの新たな方向性を模索しています。

「多西」の語源 多西村役場竣工記念写真（大正10年）



野生動物の身近な現状

深沢自治会 会長 下野 吉夫

熊、猪、鹿、猿などの野生動物の出没が全国的に増加しており、それに伴う被害も全国各地で発生しています。ここ五日市地区でも、熊の目撃情報が相次いでおり、熊だけでなく鹿や猪や猿など多くの種類の野生動物が増えています。深沢や養沢のような山間部だけではなく山下や小中野などのより住宅地に近い地区でも、熊の目撃情報が相次いでおります。数年前には畑の周辺に動物避けの柵など無くとも良かったのですが、今では畑の周囲の柵や電柵などは必須となってきました。我が家の畑でも、昨年インゲンやエンドウなどの作物が一晩で食べ尽くされる鹿の被害に遭い、今年からは畑の周囲を高さ1.5mのネットで囲む対策を始めております。気がつけば、近所の畑はみんなネットや電柵で囲まれるようになっていきます。

特に熊は人身被害の危険があり、市では目撃情

報が入り次第、警察や猟友会、環境政策課（森林レンジャー）などが連携して対応する体制をとっていただいております、人的被害が広がらないよう安心メールや防災無線などによる目撃情報の発信が行なわれるようになりました。

猿もその行動範囲を広げているようで、深沢地区でも久々に猿の群れの出現がありました。猿は柵などの対策では防ぎようがなく、人身被害の危険性も有りやっかいな存在です。

なお、この地域には天然記念物の日本カモシカも生息しており、座り込んでいると熊と見分けがつきにくいために、熊と間違われ通報される事もあります。でも日本カモシカはおとなしい動物でかわいい面がある野生動物です。

そんな野生動物たちと棲み分け共存できるような方法を考えていきたいものです。